

東京藝術大学 × 秋田ステーションビル 共同開催
秋田駅ビル アルス地下 1 階「あきた まちのえき 夏」夏休み期間に合わせてオープン
 こどもの創造性や想像力を思いっきり楽しみ、育む場に

秋田駅直結の秋田駅ビル「アルス」の地下 1 階（運営：秋田ステーションビル株式会社）にて、小学校の夏休み期間に合わせて「あきた まちのえき 夏」がオープンします。ここでは親子で様々な創造力を育み、楽しむことができる体験ブースや仕掛けを数多く展開。地元食材を使ったカフェ出店やオリジナル商品の販売のほか、作品展示やワークショップ、トークイベントなども。空いたスペースで休憩も可能です。

加えて、今回は出店ブースの募集概要も事前に公開し、チャレンジしたい事業者、個人を広く募集します。秋田の豊かな文化資源と現代芸術のもつエネルギーを存分にお楽しみいただけます。

東京藝術大学と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）は、包括連携協定に基づき、「アート」を軸とした新しいサービス・価値の提供を目指し、ともに取り組んでいます。本企画では東京藝術大学が培ってきた多様な芸術の在り方を、JR 東日本グループのネットワークを活用して地方へと届け、芸術の力で新たな活気をもたらす地方創生を目指します。

ひとりでも多くの方にご参加・ご来場いただけますよう、広報・報道機関の皆様にはぜひご周知・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



前回の「あきた まちのえき」の様子（開催期間：2025 年 1 月 17 日-2 月 16 日）

今年 1 月から 2 月にかけて開催した「あきた まちのえき」では、アーティストや職人、料理人、学生、起業家、観光客などが往来・滞在・交流し、新しい「まち」を醸す 1 ヶ月となりました。

事前内覧会・セレモニーについて（報道関係者、出店者対象 / 要事前申込）

日時 | 2025 年 7 月 18 日（金） * 時間は追ってお伝えします

場所 | 秋田駅ビル アルス地下 1 階（秋田市中通 7-2-1）

内容 | 関係者挨拶、企画趣旨説明等



最新情報は
 公式 Instagram から
 @machieki.akita

広報・お問合せ先：NPO 法人アーツセンターあきた（担当：芦立・小野地）

[TEL] 018-893-5656（秋田市文化創造館内） [E-mail] ashidate@artscenter-akita.jp

[WEB] www.artscenter-akita.jp

つくる・みせる・あそぶ「あきた まちのえき 夏」

- (1) 日時 | 2025 年 7 月 19 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日) 10:00~18:00 * 火曜定休 / 8 月 5 日は開場
前半 : 7 月 19 日 (土) ~ 8 月 6 日 (水) [17 日間] 後半 : 8 月 9 日 (土) ~ 24 日 (日) [14 日間]
(8 月 7 日、8 日も開場し、一部エリアで展示設営等を公開で行います。一般来場者の入場可能)
- (2) 場所 | 秋田駅ビル アルス地下 1 階 (秋田市中通 7-2-1)
入場無料、一部プログラムの参加等に料金が発生する場合があります
- (3) 主催 | 東京藝術大学
- (4) 共催 | 秋田ステーションビル株式会社
- (5) 運営 | trunk、NPO 法人アーツセンターあきた
- (6) 協力 | 東日本旅客鉄道株式会社
- (7) 後援 (予定) | 秋田公立美術大学、秋田県、秋田市、マスコミ各社ほか



開催イメージ：前回の「あきた まちのえき」開催風景 (左：秋田公立美術大学の学生による作品制作 右：出店ブース)

企画に寄せて

街のなかに、どんな場所があったら素敵だと思いますか？

意外に感じられるかもしれませんが、私たち東京藝術大学をはじめ、芸術文化に携わる人々の中には、街の中にある「居場所」や「場」のあり方について真剣に考え、かたちにしようとしている人たちが増えています。

2025 年 1 月から 2 月にかけて開催された第 1 回「あきた まちのえき」は、そんな想いをもとに、秋田駅前にふらりと立ち寄れる場所をつくろうという試みでした。

秋田で普段から活動されている様々な出店者の皆さまのご協力のもと、ものを買ったり、食べたりすることはもちろん、人と人とが出会い、言葉を交わし、あるいはゆっくり過ごせるような「まちの中のえき」として、多くの方にお立ち寄りいただきました。

そしてこのたび、今年 7 月から 8 月にかけて、再び秋田駅前にて「あきた まちのえき 夏」を開催できる運びとなりましたことを、ここに嬉しくご報告いたします。

秋田は折しも、竿燈まつりをはじめとする夏の魅力に満ちた季節。どこかに出かけたくなる夏休みでもあります。秋田に暮らす方々にも、旅で訪れる方々にも、「あきた まちのえき」がそれぞれの「自分の場所」として感じられるような場となれば、こんなに嬉しいことはありません。

どうぞ、お楽しみに。



西原珉 (東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 准教授 / 秋田市文化創造館 館長)

▶今回の見どころ

①子どもたちが自ら手を動かし、創造力・想像力を育み発揮する場が登場



子どもたちの成長において、創造力と想像力は非常に重要な要素です。こうした力を育むため、身体を使って思いっきり「つくること」を楽しむ場を開きます。

- ① 子どもたちが主体となって地域のさまざまな場所に活動をつくる「かえっこ」を定期的に開催
 - ・こども通貨「カエルポイント」を使って活動と子どもたちをつなぎます。
 - ・遊ばなくなったおもちゃをカエルポイントに交換したり、そのポイントでおもちゃを持って帰ったりすることができます。
 - ・おもちゃを持っていなくても、掃除等に参加することでポイントをもらえます。
- ② プラスチックのおもちゃを使用したオブジェやアクセサリづくりができる工作坊
- ③ 布やぬいぐるみ等を活用したパペットづくり、その簡易シアターの登場

会期中、素材を随時募集！

会場が様々な作品制作のための素材集積所に。

募集素材：いらなくなったぬいぐるみ、子供服、おもちゃ、雑がみ等

「かえっこ」発案者：

藤 浩志（ふじ・ひろし） 美術家



1960年鹿児島県生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、公共空間での表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初表現と人類学とヤセ犬に出会う。バブル崩壊期の土地再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市と人間の欲望を学ぶ。給料一ヶ月分のお米から始まる「お米のカエル物語」、不用品を活用した「101匹のヤセ犬」「Vinyl Plastics Connection」「Kaeko」「Jurassic Plastic」等、全国各地で美術表現多数。十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学教授、NPO法人プラスアーツ副理事長、NPO法人アーツセンターあきた理事長。

<https://www.fujistudio.co>

②前回に引き続き、多様な出店者が期間限定で集結！そして公募も実施します

「あきた まちのえき 夏」に参加するアーティストや職人、料理人、学生、起業家、観光客などを募集します。今回は公募を行うことで、より幅広い参加者に出店・展示いただくことを期待します。出店者として参加する、作って楽しむ、買って楽しむ等、様々な形でお楽しみください（募集内容詳細は別紙参照）。

- (1) 募集数 【前半】最大10組 【後半】最大20組 【キッチン/前後半】各1組
- (2) 募集締切 2025年6月14日（土）

ブース参加者 五十音順/2025 年 5 月 19 日時点

出店日時が各参加者により異なります。今後、公募によって最大 40 団体まで増えます。詳しくはお問合せください。また、会期が前半・後半に分かれるため、どちらかのみの出店となる場合があります。

参加者名	カナ	参加内容
継続 trunk	トランク	ZINE、trunk グッズ、ヘチマスポンジ、野菜の販売
継続 PARK-いきるとつくるのにわ	パークイキルトツクルニワ	秋田に暮らす人々やクリエイター、専門家が交わり、表現を育むプロジェクトの活動紹介展示、関連イベントの実施
継続 ルーム巢	ルームス	お部屋をイメージしたサブカルチャースナック喫茶によるドリンク販売、出張占い、グッズ販売
継続 6 坪カフェ	ロクツボ カフェ	6 坪カフェのシェアキッチン利用者による多様な飲食物を販売
継続 全自動さじなげ委員会	ゼンジド ウサギ ナゲ インカイ	秋田県内の廃墟、廃村、廃校のまとめサイトの運営を行いながら、オリジナルグッズの制作や販売も行う
継続 おもしろど・かだればあ	オモシロド カタルバア	介護の相談窓口や、編み物、手打ちうどん等のイベント開催
新規 ORAe	オラエ	作り手の顔が見える高品質で、温かな質感を持つ秋田の木工製品の展示を実施

展示 五十音順

参加者名	カナ	参加内容
継続 秋田公立美術大学有志	アキタリツビ ジュツダ イカク ユウシ	学部、大学院等専攻を超えた有志が会場内各所の壁面や隙間を使って作品制作・展示。会期中に制作を行い、次々に変化。来館者と共に制作するワークショップ等も実施予定。
新規 民具ラボ出張所（仮）	ミング ラボ シュツチョウジヨ	民具とアートのアーカイブについて、研究者や表現者、ボランティアが協働し研究するネットワーク型プロジェクトの「民具とアートとアーカイブの研究所（民具ラボ）」が、秋田市在住の収集家・油谷満夫さんの民具などを展示公開します。
継続 かえるラボ／藤浩志	カエルボ /フジヒロシ	プラスチックのおもちゃ等を使用した彫刻作品の制作ラボ。期間中、制作に必要な材料を随時募集。持参すると何か良いことがあるかも。おもちゃの交換システム「かえっこ」も登場。
新規 中島伽耶子	ナシマガコ	インスタレーション作家による展示。会場の壁などに直接アプローチした作品の滞在制作、展示。ワークショップの開催
継続 東京藝術大学	トキョウゲイ ジュツダ イカク	「旅のお供 秋田編」。主に秋田の人々によって制作された数々のパペットやぬいぐるみを旅する「お供」として貸し出し
継続 ぷくぷく（puku puku）	プクプク	酒やどぶろくをテーマにした展示・ワークショップ
継続 インドアゲームズ	インドアゲームズ	謎解きゲームの展示、15 分で遊べるテーブルトーク RPG の体験プレイを展開
継続 出張ソウゾウカンラボ	シュツショウ ソゾウカンラボ	秋田市文化創造館に常設されたつくるために必要な素材やアイデア、道具が揃う工作スペースが出張

▶管理・運営団体

trunk

2021 年から秋田を拠点にすべての人が生きやすい環境を目指して活動するコレクティブ。これまで、自主企画での展覧会やおはなし会、上映会やラジオ配信など、あらゆる方法で場作りを行ってきた。

メンバーはデザイナーや漫画家、美術作家、ファシリテーションやアートマネジメントを学んだ人たちで、それぞれの専門性を生かした活動を行う。

<https://sylvester-shifu.com/>



▶広報

NPO 法人アーツセンターあきた

秋田公立美術大学の社会連携を担う学外法人として設立。秋田公立美術大学の多彩な研究や教育活動、幅広いネットワークを活かし、アートやデザインの力でさまざまなプロジェクトに取り組む。2021 年から秋田市文化創造館の指定管理者を務める。



▶同時開催「SOZOW フェス Akita 2025 Summer」

親子で遊べるデジタルのお祭り

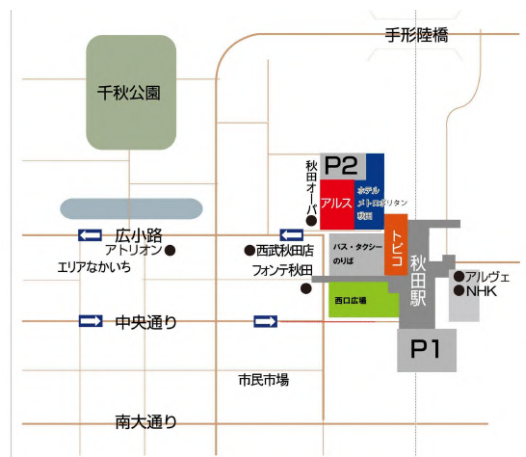
2025 年 7 月 19 日（土）～8 月 6 日（水）にアルス地下 1 階にて開催。子どもが主役となり、マイクラや AI、映像制作、ロボットなどの最新テクノロジーを使って、親子で楽しみながら学べるデジタル創造体験イベントです。未就学～小学生対象。

6 月中旬より特設サイト公開・チケット販売開始を予定しています。



▶会場について

秋田駅直結の駅ビル商業施設「アルス」。
市民だけでなく観光客の往来も多くあります。



広報・お問合せ先：NPO 法人アーツセンターあきた（担当：芦立・小野地）

[TEL] 018-893-5656（秋田市文化創造館内） [E-mail] ashidate@artscenter-akita.jp

[WEB] www.artscenter-akita.jp